

別記第2号様式

平成16年度中間評価調査書

機関名 アイヌ民族文化研究センター

整理番号	1	研究課題名	吉田巖関係資料の調査研究																			
事業区分	※重点領域・一般試験等 一般試験		研究区分	研究	試験	調査	分析	各種施策等との関連性														
共同研究機関 (協力機関)	(帯広市図書館)		〈第3次北海道長期総合計画〉 大項目：だれもが安心して暮らせる住みよい社会を形成する 中項目：アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現 目 標：アイヌ文化の保存振興とアイヌの人たちに対する理解の促進																			
研究期間及び 所要見込額(千円)	15年度～19年度		前年度以前 (154)	当年度 (160)	翌年度以降 (540)	全体所要額 (一財 854)																
研 究 の 概 要																						
○ 研究背景 ・吉田巖(1882～1963)は、帯広などで長く小学校の教員を勤め、退職後も帯広に住み、地域の歴史やアイヌ文化の調査研究を続けた。氏の遺稿資料の中には、次のようなアイヌの歴史や文化に関するものが含まれており、貴重な資料群である。 十勝を中心に勤務地であった胆振、日高のアイヌの歴史、文化に関する調査資料 没年までほぼ欠かさず記された日記・勤務した学校の経営や教育実践等の記録 アイヌ文化、郷土史、学校教育の関係者等とやりとりした多数の書簡 これら遺稿資料は帯広市図書館が所蔵し同館において資料集の刊行を続けているが、これまでに刊行されたのは、そのごく一部にとどまっている。また吉田巖関係資料は道内外に多数存在しているが、それらの多くはまとまって収集・整理されていないなど、吉田巖関係資料をアイヌ文化・アイヌ史の学習・研究等に活用するための条件は、未整備である。 ○研究目的 ・遺稿資料のほか他機関所蔵の関係資料を含めた全体を見通す資料の収集と整理分析を行い、アイヌ史・アイヌ文化研究のための基礎的資料を整備する。 ○研究内容 ・帯広市図書館所蔵の吉田巖遺稿資料を中心に、他機関所蔵資料の調査・収集を行い、これらの資料の総合的な整理・分析とデータベース化等を進める。 ○ 年次別目標 <table><thead><tr><th>年 度</th><th>内 容</th></tr></thead><tbody><tr><td>H15</td><td>予備調査(他機関所蔵関連資料の所在確認、遺稿資料の複写準備等)</td></tr><tr><td rowspan="4">H16～18</td><td>遺稿資料の調査・収集(帯広市)</td></tr><tr><td>遺稿資料の調査・収集(継続)</td></tr><tr><td>他機関所蔵関連資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集</td></tr><tr><td>収集資料のうち未公開部分の翻刻と内容分析</td></tr><tr><td>H19</td><td>主要資料(日記、民族誌調査、書簡等)のデータ化</td></tr><tr><td>H19</td><td>成果のとりまとめ</td></tr></tbody></table> ○ 研究計画の適切性 ・帯広市図書館の協力を得て同館の整理計画と整合性を図って進めており、期間・経費ともに適切である。 直近の研究課題評価結果 平成14年度 事前評価 【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C								年 度	内 容	H15	予備調査(他機関所蔵関連資料の所在確認、遺稿資料の複写準備等)	H16～18	遺稿資料の調査・収集(帯広市)	遺稿資料の調査・収集(継続)	他機関所蔵関連資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集	収集資料のうち未公開部分の翻刻と内容分析	H19	主要資料(日記、民族誌調査、書簡等)のデータ化	H19	成果のとりまとめ		
年 度	内 容																					
H15	予備調査(他機関所蔵関連資料の所在確認、遺稿資料の複写準備等)																					
H16～18	遺稿資料の調査・収集(帯広市)																					
	遺稿資料の調査・収集(継続)																					
	他機関所蔵関連資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集																					
	収集資料のうち未公開部分の翻刻と内容分析																					
H19	主要資料(日記、民族誌調査、書簡等)のデータ化																					
H19	成果のとりまとめ																					
研 究 の 進 捗 状 況																						
○ 研究計画に照らした進捗状況・目標達成度など ・現在(16年6月)までのところ、当初の計画通りすすめている。また、現在のところ初期の目的にそった成果を達成できる見通しである。 ○ 年次別実績 <table><tbody><tr><td>・平成15年度</td><td>帯広市図書館所蔵資料</td><td>書簡資料のデータ整理</td></tr><tr><td></td><td>他機関所蔵関係資料</td><td>東京都(渋沢史料館)、福島県相馬市(相馬高等学校、市立図書館)</td></tr><tr><td>・平成16年度</td><td>主要資料のデータ化</td><td>既刊資料の検索用データの作成</td></tr><tr><td></td><td>帯広市図書館所蔵資料</td><td>書簡資料のデータ整理(年度内終了)</td></tr><tr><td></td><td>他機関所蔵関係資料</td><td>東京都(国会図書館他)</td></tr></tbody></table> 進捗度・目標達成度 (a)・b・c								・平成15年度	帯広市図書館所蔵資料	書簡資料のデータ整理		他機関所蔵関係資料	東京都(渋沢史料館)、福島県相馬市(相馬高等学校、市立図書館)	・平成16年度	主要資料のデータ化	既刊資料の検索用データの作成		帯広市図書館所蔵資料	書簡資料のデータ整理(年度内終了)		他機関所蔵関係資料	東京都(国会図書館他)
・平成15年度	帯広市図書館所蔵資料	書簡資料のデータ整理																				
	他機関所蔵関係資料	東京都(渋沢史料館)、福島県相馬市(相馬高等学校、市立図書館)																				
・平成16年度	主要資料のデータ化	既刊資料の検索用データの作成																				
	帯広市図書館所蔵資料	書簡資料のデータ整理(年度内終了)																				
	他機関所蔵関係資料	東京都(国会図書館他)																				
今 後 の 見 通 し																						
○ 研究開始後の事情変更の有無 ・特になし。 ○ 研究手法・資源配分の見直しの必要性 ・特になし。 期間の妥当性 (a)・b・c 経費の妥当性 (a)・b・c ○ 期待される成果とその実現可能性、成果の有益性・活用可能性 ・成果のとりまとめとして、吉田巖関係資料の総合的な目録を中心に、その内容と吉田巖の著作や他の関係資料との関連付けなどをとりまとめた「吉田巖書誌」(仮称)を編さんする。これは、吉田巖関係資料及び吉田巖の著作に関する利用価値の高い手引きとなり得るものであり、地域のアイヌ史・アイヌ文化に関する学習・教育研究の基礎資料として活用されることが期待できる。 実現の可能性 (a)・b・c 活用の可能性 (a)・b・c																						
【自己評価】 (A)・B・C	【説明】 膨大な資料群ではあるが、帯広市図書館との連携が良好で計画どおり順調に作業が進んでおり、成果の方向性が明確になっていること、また、遺稿資料の内容が生活文化や歴史研究等にとって重要なものであることから、アイヌ文化研究の中でも優先的に、引き続き研究に取り組む必要がある。																					
【総合評価】 (A)・B・C	【意見】 関係機関との連携により計画どおり研究が遂行されており、これら資料の総合的な整理分析及びデータベース化がされることにより、アイヌ史、アイヌ文化研究のための貴重な資料となることから、引き続き取り組む必要がある。																					

(A) 今後十分な研究成果が期待でき、優先的に取り組む必要がある
(B) 今後一定の研究成果が期待でき、継続して取り組む必要がある
(C) 今後の見直し等に問題があり、中止を含めた抜本的な見直しが必要である

(a) 極めて高い、適切である
(b) 高い、概ね適切である
(c) 低い、改善の余地がある